

りんごスイーツ フェア

自治体情報

人口 12,698 人

標準財政規模 4,302,076 千円

担当課 長野県 飯綱町 まちづくり推進課

電話番号 026-253-2511 内線 (122)

ホームページ <http://www.town.iizuna.nagano.jp/>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

飯綱町の主産業は農業であり中でもりんごは、栽培面積約 500ha、10,600t と本町の農業の中核的な存在となっており、長野県内でも有数のりんご産地である。

町では、飯綱町産りんごのブランド力向上を図るため、生産者や JA を交え様々な取り組みを行ってきた。

しかし、りんごは、青森県はもとより長野県内においても多くの産地があり、他産地との差別化等は非常に難しく、また、市場価格の低迷やりんご栽培農家の後継者不足に伴う高齢化により現状は大変厳しい状況にある。

そこで、りんごそのものを PR するのではなく、りんごを使ったスイーツや地元の食資源を活用するなど、側面的な切り口での企画展開を行ない、住民と行政が協働し、りんごの町としてのイメージアップとブランド力の向上を目指した。

また、誘客のターゲットを隣接する長野市を始め、近隣市町村に絞り期間中何度でも訪れていただけるような身近な企画内容とし、交流人口の増加を図った。



りんごのスイーツクッキング教室

2 事業内容 (目的・目標・方策)

町の主要農産物であるりんごをキーワードとした地域の活性化を目的に 11 月 1 日から約 1 ヶ月間に亘り「飯綱町りんごスイーツフェア」と銘打ってりんごのスイーツ販売やコンサート、町内の芸術家によるりんごをテーマとしたアート&クラフト展、農家とのふれあいを重点に置いた新たなりんご狩りツアーなどを実施。

また、11 月 28 日 (土) には、地元で伝わる郷土料理やりんごを使った料理など 50 種類の料理を無料で提供する「飯綱町ふるさと食の祭典」など様々なイベントを開催。

それにより、農業・商業・観光業の振興、地産地消の推進、及び飯綱ブランドの構築を図り、元気な町づくりを目指した。

本事業の開催により町内を訪れた方が、りんごをキーワードに、五感「見る、聞く、かぐ、味わう、触れる」で秋の飯綱町を楽しんでもらえるようなカジュアルな休日の過ごし方を提案する企画内容とした。

(見る)

- ①地元の芸術家のみなさんの作品を展示する「りんごの丘・アート & クラフト展」を開催。
- ②チラシに、りんご畑で出来た美しい地平線などの町内ビューポイントを紹介。

(聞く)

- ③プロミュージシャンによるジャズコンサートを開催。
(味わう・かぐ)
- ④町内レストラン等でりんごスイーツを販売。協力店舗12店舗。参加スイーツ約30品。りんごスイーツを500円購入で、「りんごチケット」1枚、「アップルミュージアム招待券」1枚をプレゼント。
- ⑤地元レストランのパティシエによるりんごスイーツのクッキング教室を開催。
(触れる)
- ⑥観光農園とは一線を画す、農家とふれあいながら、りんご畑でりんご狩りを楽しむ企画。お茶と農家特製の漬物も味わえ、農家との交流が出来る。
- ⑦直売所でのりんごプレゼント及び新鮮りんごのショッピング
町内農産物直売所においてりんごチケット3枚でりんご3個をプレゼント。
町内農産物直売所のPRを同フェアチラシにおいて実施。
- ⑧(その他関連イベント)
「飯綱町ふるさと食の祭典」開催。



3 施策の開始前に想定した事業効果

りんごスイーツフェアを通じ飯綱町の交流人口が増え、農業・商業・観光業の振興はもちろんのこと地産地消の推進及び町のイメージアップが図れる。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

りんごそのものをPRするのではなく、スイーツといった側面的な切り口で企画展開し結果としてりんごをはじめとする地元農産物の販売促進等PRに繋がった。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

- ・期間中のスイーツ販売実績 150万円強
- ・多くのメディアに取上げられその効果は宣伝費に換算すると約1,300万円以上となり、町のイメージアップに繋がった。(新聞5社、TV4局、ラジオ2局、タウン誌6誌)

予算関連データ 飯綱町

平成20年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
569千円		0千円	0千円	0千円	0千円	569千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					